

第111回資産運用委員会 議事要旨

1. 日時：令和7年10月31日（金）9：51～10：55
2. 場所：KKRホテル東京 11F 孔雀
3. 参加者：神野委員長、菅原委員長代理、宇野委員、小野委員、玉木委員、中嶋委員、林委員

4. 議事要旨

(1) 令和7年度第2四半期の運用状況及び運用リスク管理の状況について

事務局から、厚生年金保険給付積立金、退職等年金給付積立金の令和7年度第2四半期の運用状況及び運用リスク管理の状況について説明があり、それぞれの積立金の管理運用の方針に則り運用が行われたこと、適切なリスク管理が行われたことが確認された。

(2) オルタナティブ投資の進め方について

事務局から、オルタナティブ投資の進め方について説明があった。

委員からは、以下の意見等があった。

- ・バンクローンは投資家がローンの内容を見ることができるため、かつてのサブプライムバブルのようなタイプの問題は起こりづらいことに着眼していると説明に付け加えるとよいのではないか。
- ・バンクローンは、リターンの源泉が信用リスクであり、デュレーションも短く、金利のリスクがリターンを生み出す外債とは別物であるため、外債の区分に入れることには注意が必要。リスク管理を分ける必要があり、外債とは異なるものと認識した上で投資をしていることを分かるようにされたい。
- ・バンクローンの報告資料では、トータルリターンのみの報告になっているが、インカム部分とキャピタル部分を分け、破綻率や回収率のディスクロもお願いしたい。

(3) スチュワードシップ・コード再改訂版への対応について

事務局から、スチュワードシップ・コード再改訂版への対応について報告を行った。

委員からは、以下の意見等があった。

- ・他団体の改訂状況を、事後的にでも確認されたい。

以 上